

1月19日 朝の勉強会

担当 W 先生
テーマ「本当にあった怖い転倒」

ショック+対麻痺 といえば、

- ①本当に転倒したならば、
●の可能性
- ②転倒ではなく失神ならば、
●, ●の可能性



【本症例：
非骨傷性脊髄損傷】
加齢性変化や靭帯骨化
に伴う脊柱管狭窄症を持つ
高齢者に多い
C3/4 椎間板レベル
⇒C4障害が多い

70歳代男性 救急隊からの情報

『自宅内で転倒して、動かなくな
った。顔から流血あり。』

GCS E4V1M6

血圧 55/40, 脈拍 73回/分,

SpO₂ 99% (O₂ 10L) 呼吸

数 18回/分, 体温 35.8℃

四肢麻痺あり』

ショック+対麻痺

- ①本当に転倒→脊髄損傷
- ②転倒ではなく失神→
大動脈解離, 脊髄梗塞
の可能性を考えて診察